

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.4
平成26年5月23日

感謝の気持ちを行動に

この間、6年生のA子さんが、E先生に、「いつも学校をきれいにしてくれて、ありがとうございます」と、お礼を言っているのを聞きました。わたしは、とても感心しました。A子さんは、ふだんからE先生が、清掃していただく様子をよく見ていたんでしょね。だから、E先生が、いつもみなさんが登校してくる前に、学校をきれいにしてくださっていることに気付いていたのです。

みなさんは、どうですか、いつも東門付近から中庭、校舎の周囲をE先生が、清掃してくださっていることに気が付いていましたか。そのことに気付いて、感謝の気持ちをもてたことがA子さんの素敵なところだと思います。同じようにE先生の清掃の様子を見ても、誰もが感謝の気持ちをもてるとは限りません。

それをちゃんとE先生に伝えられたことが立派だと思います。この言葉には、学校をきれいにしてくださっていることに感謝し、これから自分も学校をきれいにしようという思いがこもっています。

みなさんが、安全に気持ちよく学校生活を送れるのは、たくさんの人の支えがあるからです。そのことに感謝し、A子さんのように自分でお礼の言葉で表したり、感謝の心を伝えたりすることができるといいですね。

三つ目のおまんじゅう（5／23）

さて、今日は笑い話をします。どこがおかしいのか、よく聞いて下さい。
昔、ある所にまさお君という人がいました。ある日、まさお君は、お腹が空いたのでおまんじゅうを食べることにしました。

一つ目を食べましたが、お腹がいっぱいになりません。そこで、二つ目のおまんじゅうを食べました。それでもまだお腹はいっぱいになりません。それで、三つ目のおまんじゅうを食べたらやっとお腹がいっぱいになりました。

その時、まさお君が言いました。「なんだ、こんなことなら初めから三つ目のおまんじゅうを食べればよかった。」

何がおかしいか、わかりましたか？

そうですね。三つ目のおまんじゅうだけでお腹がいっぱいになったのではなく、一つ目、二つ目とおまんじゅうを食べたので、三つ目でお腹がいっぱいになったのですね。

実は、この笑い話は、みなさんの勉強についても言えることです。例えば、漢字の勉強にあてはめてみましょう。

一つ目のおまんじゅうは、漢字の正しい形や書き順を覚えることです。

二つ目のおまんじゅうは、お手本を見ながら自分で書いてみることです。

そして、三つ目のおまんじゅうは、自分の書いた字と正しい字を見比べて確かめることです。

まさお君が言っていた初めから三つ目のおまんじゅうをたべるように、いきなり三つ目の漢字を見比べるだけでは、正しい漢字を覚えることはできません。

この笑い話は、「勉強は、一つ一つしっかりと積み重ねていくことが大切である」という例え話なのです。

みなさんも、まさお君のように「三つ目のおまんじゅうを食べれば・・・」とは思わずに、今日からまた、じっくり気持ちを落ち着けて学校生活を送り、勉強を一つ一つ積み重ねていってください。

